

# HIGASHI OSAKA MIDORI R.C



SERVE TO CHANGE LIVES

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区  
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日  
会 長 北 井 孝 彦  
幹 事 表 孝 典  
会報委員長 井 上 善 博

2021-7-01 (第998回)

## 今週のプログラム

≪7月01日(木)例会KKRホテル2階「琴」≫

◎「就任挨拶」

会 長 北井孝彦君

幹 事 表 孝典君

会長エレクト 田村嘉宏君

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

## 来週の予定

≪7月15日(木)例会KKRホテル2階「琴」≫

◎「就任挨拶」

例会担当 井上善博君

交流担当 木戸章由君

国内担当 阪田克英君

国際担当 谷口 明君

## 先週の出席者

≪4月01日(木)例会≫

会員数18名 出席10名(66.7%)

\*11月26日(木)例会修正出席率 92.9%

会員数18名 例会出席者12名/メークアップ1名

## 幹事報告

幹事 表 孝典君

◎本日例会後、定例理事会を行います。

◎次週(7/8)の例会は、公休日です。

## 退任挨拶

2020-21年度会長 政岡政広君

はじめての会長職で一番感じたことは「紆余曲折」の一言に尽きました。

コロナ禍の中での一年間を振り返りますとロータリー活動をはじめ公私ともに様々な環境が一変しましたがロータリーの活動もリモート例会をはじめ多岐にわたりさらに変化していく事と感じました。

特に IMRD はコロナの影響で中止となりましたがリアル開催と通信のハイブリッド形式で準備していたこともあり代わりに開催された地区主催のロータリー希望の扉プロジェクトを通信形式で行うことになったことは何より印象的でした。

ロータリーは、理念を实践する人々の集まりだと思えますので、この様な活動が制限されているときにロータリアンの皆様と協力し合い奉仕活動ができたことは何より嬉しく感じました。

また、事業を開催するにあたり他クラブの会長様たちと話す機会が増えたことでロータリーについて、クラブ運営について大変勉強になりましたがその中でも、私達の東大阪みどり RC の一番の課題と思われる会員増強とクラブの力を保つためには、何と云っても新入会員の招致、さらなる若さが不可欠だと思いましたが、実際にはコロナ禍による緊急事態宣言で例会の開催日数が極端に減り増強をはじめ会員交流も思う

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒540-0007

大阪市中央区馬場町1-8 メゾン・ド・ヴィレ大阪城公園前402号室

Tel. 06-6945-1800 Fax. 06-6945-1808 E-mail midori-rc@george24.com



ほど出来なかった事やり残したことが沢山あり大変心残りでございます。

本当はもっとやりたい事=できたはずの事があったのでは?と、ふと思いました

今回会長として十分に活躍することが出来ませんが、将来クラブのお役に立てるように予習とお許しいただき今後の活動に大きく寄与出来ればと思います。

最後に 2020-21 年度の東大阪みどり RC は、コロナ禍でことごとく事業が中止になった一年でしたのでクラブが創立して初めての事態でしょうから強く印象に残る一年と思います。ワクチン接種も一日も早くいきなり少しでも不安を取り除き安心して皆様本当に有難うございました。

#### 2020-21 年度幹事 木戸章由君

政岡会長の元、幹事としての大役を無事終えました。

これもひとえに政岡会長・会員の皆様方の協力のおかげだと思います。

本当にありがとうございました。

新型コロナの影響で例会や交流事業・奉仕事業・増強活動がほとんど中止になり皆様のお顔を見る機会が減りさみしい気持ちや残念な気持ちで達成感なく終わろうとしています、これからも色んな経験を生かしてロータリー活動を続けて参りますので宜しくお願い致します。

#### (4/1) 卓話抄録

#### 「東大阪のこれからのまちづくり」

井上善博君

これからの日本が抱える最大の問題の一つは、人口減少に伴う社会の在り方・街づくりの在り方です。もはや行政の力だけでは難しい状況なのは明らかで、自主的に各団体や個人が積極的に「魅力的なまち」を目指して活動していかねばならない時代に突入しました。

我々ロータリークラブも新時代に向け、これに合っ

た奉仕活動を展開すべきであります。

まずは東大阪の人口の推移や推計の資料をご覧ください。このように、東大阪を7つのゾーンに分けた場合、中央大通り・地下鉄中央線やJRおおさか東線近辺は人口の増加が見られますが、これより南部の利便性のあまり良くない地域は急速に減少しています。2018年の東大阪市の人口は49万人と50万人を割り、年少人口(15歳未満)11.6%、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)60.5%、老年人口(65歳以上)28%となっています。これが予測によると、2040年には42万人と減り、割合も年少13%・生産50.3%・老年36.7%となるそうです。明らかに生産年齢人口が減り、まちが活力を無くす予測であります。現在それを予兆する現象として、「空き家」の増加があります。2013年の東大阪の空き家率16.28%は全国平均13.5%と比べて非常に高い数字です。経済だけでなく、地域のつながり、防災・防犯の観点からもかなり心配な状況です。私自身、不動産賃貸業を営んでいて、肌で感じる事があります。

まず、高齢者の一人暮らしの方々が増え、訪問介護や老人ホームに入居される方も増えています。つまり一戸建ての大きな家は不要となります。核家族化や一人暮らしの方々が増え、郊外の3DKのマンションやアパートよりも駅前のワンルームマンションのニーズが増えています。外国籍の方が増えて、低価格の古い物件の需要は高い。ちなみに2020年2月で、外国人の方の登録人数は18,870人です。(3.9%)ますます増える傾向にあります。ではどうすればいいのでしょうか?結論から言うと、「多様性を受け入れ、柔軟に対応していく」ということしかありません。うちの例でいくと、①古い一軒家をあまりお金をかけずに改装して、外国人の方々に共同で住んでいただく。②古い木造アパートはバリアフリー化して、救急車・介護の車が進入しやすくし、高齢者の方があまり不便を感じないようにする。③使われない古民家を特殊物件にし、ユニークな住人に提供する。(陶芸家・ミュージシャン・NPO法人・ボランティア団体・まちの

あいみ さから な  
相視て笑い、心に逆ふこと莫し「莫逆の交」を目指そう!!

2021～2022年度 東大阪みどりRCのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ

老人会や自治会に貸す、等です。そして、なんとい  
っても健康で長く働くべきです！65 歳以上を老年  
といいますが、最近元気なじじばばが多いです！  
自営業や経営者の方は 75 歳まで働きましょう！  
(特にロータリアン)。サラリーマンも 65 歳から  
生きがいをみつけて第二の人生に踏み出しまし  
ょう！

今、みどり RC が支援をしようとしている「スイミ  
ー」さんという身障者支援団体と協力者の方からヒ  
ントを得たのですが、つながり食堂を継続的に運営し  
ていくためには、立場や固定観念を超えて、「繋がる」

ことが一番大事です。これを参加者皆で実行するこ  
とで、楽し

く、理想的な「まち」になるはず。コロナ禍に  
負けずに前を向いていきましょう！

### ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(4/1)合計 19,000 円 今年度累計 30,000 円

## 希望の扉プロジェクト 門田隆将先生講演会

6/12(土)、KKRホテルにて門田先生の講演会を無事終えることが出来ました。リアルタイム視聴者 103 名、  
アーカイブ視聴者 276 名という大勢のロータリアンの方がご覧頂きました。

